

令和 7 年(2025 年) 4 月 10 日

第 3 学年保護者の皆様へ

札幌市立上野幌中学校

校長 太田 尚代

令和 7 年度全国学力・学習状況調査の実施について

春暖の候、第 3 学年保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素より、本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび札幌市教育委員会では文部科学省に協力し「令和 7 年度全国学力・学習状況調査」を実施することとなりました。

この調査は、国・公・私立学校の小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年、原則として全児童生徒を対象とし、教科の問題（今年度は国語、数学、理科）や、生活や学習についてのアンケートによって、義務教育における全国的な子どもの学力や学習の状況、学習に対する意識などを把握し、今後の学校教育の改善に役立てようとするものです。本調査の詳細につきましては、裏面にてご確認くださいようお願い申し上げます。

CBT 調査(理科)を 4 月 15 日(火)

※Chromebook を使用したオンライン調査

国語、数学の調査を4月 17 日(木)

※筆記検査

また、調査結果につきましては、文部科学省が一括して処理を行い、後日、全国及び都道府県ごとの状況が公表され、学校を通して各生徒に調査結果が提供されることになっています。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、ご不明点等がございましたら、本校教頭までお問合わせください。

(上野幌中学校 TEL：8 9 5－0 5 3 1)



文部科学省

令和7年度全国学力・学習状況調査

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施するものです。

調査実施日 : CBT(理科)調査・質問紙 4月15日(火) 5・6校時
: 国語・数学 4月17日(木) 1・2校時

調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、理科 各50分）

出題範囲は調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下の通りとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関するオンライン質問紙調査（25分程度）

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

(3) 生徒一人一人の学力・学習状況が細かにわかるCBT調査（理科）

時間割（本校の場合）

	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
4月15日	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業	オンライン調査(質問紙)	CBT調査(理科)
4月17日	国語(50分)	数学(50分)	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業

調査を受けるのに必要な文房具

- ・HB以上の濃さの黒鉛筆（シャープペンシルも可。ボールペンは不可）
- ・消しゴム

※定規やコンパス、分度器等の文房具は調査に使用しません。